

B-12 被服工作実習の際の計り方の問題点

金沢大 木越美和子

1. 被服工作実習で衿を製作するとき湿度の変化によって布が伸縮し、表と裏の地質のちがうときは、その変化を考慮する必要がある。

2. 実験用布 12 種を湿度65%、温度20°Cの部屋の中で、幅2 cm、丈50 cmに切り、3.3 gのおもりをつけて、恒湿箱の中に入れ、20%、65%、80%の時の布の伸縮をカセットメーターで測定した。

3. 20%の湿度のとき、布は全体に縮み、そのすくない順にあげれば、ボンネル-0.22、富士絹-0.22、多いのはナイロン-0.80、ちりめん-0.60等である。65%の湿度のときの伸縮をみれば実際の伸縮が出る。